

特集 身近な教材

小・中学生の夏休み。プールや海に行ったり、外泊をしたり楽しかった思い出と、後回しにした宿題に追われ大変だった思い出などいろいろとあるのではないのでしょうか。

いなべは竜ヶ岳や藤原岳、員弁川、青川などたくさんの自然に囲まれていて、自由研究の題材にできる天

然の教材が身近にあります。

今回はいなべで自然の魅力を伝えるために活動している人に、自宅で簡単にできる自由研究のヒントを教えてくださいました。

まだ自由研究のテーマが決まっていない人は本誌で紹介する内容を参考にしてみてくださいはいかがですか？

身近な自然を使った授業

十社小学校では地元の川の水質を知るために、15年以上前から田切川に生息する生き物の調査を通じた学習を行っています。

捕まえた生き物を観察し、名前や生息していた場所などを確認します。田切川の豊かな環境がいろいろな生き物を育てていること、川の水質を守ることが生き物の命を守ることを体験しながら学びます。



6月17日（月）に十社小学校で行われた「川の生き物調べ」の様子



いなべに生息する 珍しい動植物

いなべ市は伊勢湾と若狭湾を直線で結ぶとほぼ中央に位置しています。そのため、太平洋・日本海気候両方の影響を強く受けてきました。2種類の気候と石灰岩地帯を含む独特の地質からつくり出された環境で生息する動植物の種類は豊富で、三重県や全国でも珍しい種類があります。

いなべで生息している動植物で、天然記念物や絶滅危惧種に指定されているものの中から一部を紹介します。目にしたことがありますか？これらの貴重な動植物はふるさとの宝です。大切に守っていきましょう。

ネコギギ

(国指定天然記念物、三重県レッドデータブック絶滅危惧ⅠA類)



カナマルマイマイ

(三重県指定希少野生動植物、三重県レッドデータブック絶滅危惧ⅠB類)

ミノコバイモ

(三重県レッドデータブック絶滅危惧ⅠA類)



タキミチャルメルソウ

(三重県レッドデータブック準絶滅危惧)

キクザキイチゲ

(三重県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類)



セツブンソウ

(三重県レッドデータブック絶滅危惧ⅠB類)

木の枝で筆をつくろう

木の枝で自分だけの筆をつくろう。いろいろなもの
でつくる筆は世界でたった一つの線を生み出します。

準備するもの

- 植物や木の実など
- はさみ
- 枝
- たこ糸

1 筆先に使用したい植物や木の実などを選ぶ。それを枝にくくりつけられるようにはさみで形を整える。筆の持ち手になる枝を使いやすい長さに切る。



2 整えた植物などをたこ糸で枝にしっかりとくくりつけたら完成。



植



紹介者
地域おこし協力隊
田中翔貴さん

3 出来あがった筆で描き心地を試してみよう。筆先の素材を変えるといろいろな種類の線を楽しめます。



紹介者
地域おこし協力隊
坪井諒介さん

フォトフレームアレンジメント

準備するもの

- 気に入った植物
- 新聞紙
- 額やアルバムなど
- 画用紙
- 植物を飾れるもの
- 重し

1 採集した植物の形を整えて新聞紙1枚(1ページを半分に折る)に挟む。新聞紙1~2枚で植物を挟んだ新聞紙を包み、重しを載せる。



2 植物をパリパリになるまで乾燥させるため、毎日1回外側の新聞紙のみ新しいものと交換する。そのとき、植物の形を整えておく。(植物によって異なるが、約1週間で乾燥できる)

3 乾燥した植物を額のサイズに合わせた画用紙の上に乗せ、額にはめれば完成。



川に生息する生き物を調べてみよう

川

川に生息する生き物を捕まえて観察してみよう。調べて自分だけの図鑑をつくれます。
※水位が膝より高い場所は危険です。避けてください。

準備するもの

- たも
- カメラ
- バケツ
- 筆記用具
- 透明容器

【捕まえる方法】

1 水草や草が茂っている場所や石の下流にたもを構える。



2 上流から足で水草や石を動かして、生き物をたもに追い込む。追い込んだらすぐにたもを上げる。



【観察方法】

1 捕まえた生き物の中から観察したいものを選び、水を入れた透明容器に入れる。いろいろな角度から眺めたり、写真を撮ったりする。



2 気付いたことをノートにメモをする。図鑑で調べたり詳しい人に聞いてみたりしてノートに記録し、自分専用の図鑑をつくろう。



紹介者
学校教育課
土岐竜馬さん



セミの成長を観察

セミを観察してみよう。脱皮殻で種類が区別できるので、脱皮殻を集めて調べると、近くにどんなセミが暮らしているかなどいろいろなことが分かります。

準備するもの

- カメラ
- 懐中電灯(ヘッドライトなど)
- 筆記用具
- 時計

1 公園や学校周辺などに植えられている、サクラやケヤキなどの大きな木を探す。



2 木の根元付近に直径1～2cm程度の丸い穴が開いていないか探す。(穴は幼虫が出てきた目印になるので、周辺で幼虫が見つかる可能性が高い)



紹介者
藤原岳自然科学館
矢崎充彦さん

3 日没前後に幼虫が地上に出てくるので、葉の裏や木の幹などで幼虫を一生懸命探す。幼虫を見つけたら観察開始！幼虫が定位（じっとして動かなくなる）したら間もなく脱皮を開始するので、どのように羽化していくか撮影したりノートに記録したりしよう。(脱皮が始まったら幼虫には触らず静かに見守りましょう！)



カブトムシトラップ

夏の人気者カブトムシやクワガタムシを捕まえてみよう。甘い匂いでおびき寄せられたら観察して自由研究で発表しよう！

1 使い古したストッキングなどに熟したバナナ(1本もしくは半分程度)を入れる。

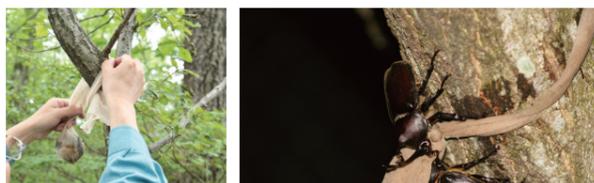


準備するもの

- 熟したバナナ
- ストッキング(水切りネットなどでも可)

2 カブトムシが集まりやすいコナラなど樹液を出す木に巻きつけて完成！

※仕掛けたトラップは責任をもって必ず回収しましょう。



自然学習を手助けします

藤原岳自然科学館ではいなべの大地の成り立ちを解説する模型やパネル、岩石や化石の標本、絶滅が危惧される希少生物、藤原岳固有の貴重な動植物などを写真や生体、標本で紹介しています。

また植物や昆虫などいろいろなジャンルの専門家がいるので発見した生物への質問に答えることができます。疑問を解消したい場合は藤原岳自然科学館へ事前連絡のうえお越しください。

夏休みの自然研究の仕方を聞く会。参加者の相談に各担当者が丁寧に対応



藤原岳自然科学館館長
伊藤朝生さん



毎年7月には「夏休みの自然研究の仕方を聞く会」、8月には「標本の名前を聞く会」を実施しています。標本の採集方法やつくり方、名前の識別、自然研究の仕方などについて各ジャンルの専門家が相談を受けたり指導を行ったりします。学校の宿題や自主学習の手助けになるので、一度来てみてください。

夏の終わりにまだ間に合う

体験イベント

【たいてい染めよう夏巾着】

気になる植物や花を採取。金づちでトントン叩いて形や色を写します。



- 日程 8月3日(土)～12日(休・月)
※8月7日(水)は休み

●時間 11:00～16:00

●場所 アトリエ hitotema (藤原町篠立 2455-2)

●参加費 500円(材料費込み)

※申し込み不要。当日会場に来てください。(所要時間 20分程度)

※「hitotemaのシゴトバ展 vol.1」を同時開催しています。身近な植物を使って色を移し染めた布や木の作品を展示しています。

☎ hitotema ☒ hitotema.293@gmail.com

【標本の名前を聞く会】

自由研究でつくった標本の名前や研究内容について指導します。

- 日時 8月24日(土)
9:00～12:00

●場所 藤原文化センター大研修室

●参加費 無料

※当日申し込み可。9:00～12:00に会場に来てください。(できるだけ事前申し込みにご協力をお願いします)

☎ 申込先 藤原岳自然科学館 ☎ 46-8488 ☒ 46-4312

【この指と〜まれ】

くるみを採集。キーホルダーをつくるために種子を取り出します。

●日時 8月18日(日) 9:00～11:00

●講師 茂木源次さん

●対象者 小学生(保護者の同伴が必要)

●場所 屋根のない学校(藤原町坂本 2065「簡易パーキングふじわら」の隣)

●参加費 無料

●申込方法 はがきまたはFAXで「住所」「氏名(ふりがな)」「学校名」「学年」「電話番号」を記入して申込先へ。

☎ 申込先 自然学習室 (〒511-0511 藤原町市場 493-1)
☎ 46-4311 ☒ 46-4312